

# おんちよろ運動



「おんちよろ運動」は  
情操教育の一環

「おんちよろ運動」とは、日本昔話の「おんちよろきょう」を題材に、お仏壇の大切さを子ども達に伝えていく活動です。

現在の生活は、ご先祖さまともども成り立っています。子ども達は感謝の姿を見て、礼節ある人に成長していき

音羽屋では、「しつこい音羽屋の作法は、美しい心や慈愛とつきあうこと、りやう作といつていきたくらと考えてい

お仏壇に手を合わせると何かしら良いことがある。子ども達も、おんちよろ運動を通して、おんちよろ運動の大切さを伝えていきたくらと考えて

お仏壇は家の伝統をずっと見守ってきた存在。

音羽屋では、その家々の大切な「伝統」を遺して、大切なる「伝統」を仕事で



著者：木暮正夫  
「ねずみ経」という名前で各地で昔から伝わるお話です。裏面参照。

子どもたちに伝えたい  
手を合わせて感謝の心



出版元：広島市PTA協議会  
広島市内の市立の小中学校の全児童・生徒のご家族10万世帯に無料配布

「食育のススメ」  
「2011年春号」  
「おんちよろ運動」が  
紹介されました。

幼児の放置死や子ども自殺がニュースになる。今の自分、自分の子どもが、自分のお陰で、おんちよろ運動が広がれば嬉





## 『日本昔話』 おんちよろきょう

「おんちよろちよろ...」  
とその後も続けて、

後から続くお婆さん。

「おんちよろちよろ  
穴のぞきそうろう」

別のネズミが穴からのぞいてきたら  
「おんちよろちよろ出て来られそうろう」  
お婆さんも後から続いて「おんちよろちよろ出て来られそうろう」

すると、部屋の隅にちよろちよろ動くネズミを見つけ、  
「おんちよろちよろ出て来られそうろう」

実は、この小僧さんはお経をまだ知らなんだんじや。  
手を合わせてお経を待つお婆さんを前に困った小僧さん。

ある晩、道に迷った小僧さんが「一晩、泊めて欲しい。」と訪ねて来られた。

お爺さんに先立たれたお婆さんは、毎日仏さまを拜んでいたが、お経を知らなんだ。

むかし、むかしのお話。

おしまい。



「おんちよろちよろそのまま帰られそうろう」

泥棒は自分の動きを見ているかの様なお経に驚き、何も取らずそそくさと逃げたとさ。

「穴のぞきそうろう」「ふにやふにや話されそうろう」「隠れてそうろう」

「なんじゃ!?!」

「おんちよろちよろ出て来られそうろう」

そうとは知らぬお婆さんは、いつものようにお経を唱えておった。

ある晩、お婆さんの家に2人の泥棒が入ってきた。

お婆さんは大喜びで、毎日毎日そのお経を唱えた。

チーン!

「なにならふにやふにや話されそうろう」  
「隠れてそうろう」  
「また出てきてそうろう」  
「そのまま帰られそうろう」

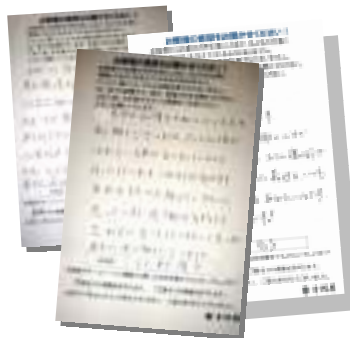
「なにならふにやふにや話されそうろう」

## 次世代に キレイなお仏壇を



「毎日手をあわせ、孫にも教えていきたいと思つています。感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思いません。」

「これからの時代の私達が先祖の供養をしてまいりませう。同時に、仏壇がきれいになり、気持ちよくなりました。」



ご依頼いただいたお客様から  
沢山のお声を頂いています。  
本当にありがとうございます。

お仏壇のクリーニング  
音羽屋

082-231-3721

編集後記  
5月10日は母の日です。お仏壇のクリーニングは、お母さんへの感謝の気持ちを伝える良い機会です。ぜひ、お母さんに感謝の気持ちを伝える機会を捉え、お仏壇のクリーニングを依頼してください。